

ごあいさつ



わが国では、昭和56年以降、がんが死因の第1位を占め続けており、生涯のうちに2人に1人の方ががんを患うと言われていています。本県においても、昭和52年から死因の第1位を占め、平成28年には、約1万5千人、死亡者の約3人に1人ががんで亡くなられており、がん対策は重要な課題となっています。

これまで、本県では、がん対策を総合的かつ計画的に推進するため、第1期（平成20年度～平成24年度）および第2期（平成25年度～平成29年度）の「福岡県がん対策推進計画」に基づき、がん医療体制の整備、緩和ケア提供体制の強化、働く世代のがん患者支援の充実などの施策に取り組んできました。医療技術の進歩や、がんの早期発見、早期治療の推進などにより、今ではがんも治せる病気になりつつありますが、がんが死因の第1位を占め続ける中、がん検診受診率の向上、がん種、世代、就労といった患者それぞれの状況に応じた支援など、更なる取り組みが求められています。

このため、これまでの計画の達成状況、県のがんを取り巻く現状と課題を踏まえて、平成30年度から6か年のがん対策の基本的方向性を示した「第3期福岡県がん対策推進計画」を策定しました。

がん患者を含めた県民の皆さまが、がんに関する正しい知識を持ち、避けられるがんを防ぐなど、さまざまながんの病態に応じて、いつでも、どこに居ても、安心して納得できるがん医療や支援を受け、尊厳を持って暮らしていくことができるよう「科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実」「患者本位のがん医療の実現」「尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築」「働く世代のがん患者支援の充実」を全体目標にがん対策を推進してまいります。

県民の皆さまの一層のご理解とご協力をお願いいたします。

この計画の策定にあたり、幅広い観点から大変熱心にご議論をいただきました「福岡県がん対策推進協議会」の委員の皆さまをはじめ、ご協力いただきました関係者の皆さまに厚くお礼申し上げます。

平成30年3月

福岡県知事 小川 洋